

第18回全国小学生タグラグビー大会大分県予選 実施要項

- 目的 全国各地の小学生がタグラグビーをプレーすることにより、ラグビースピリットを通じ、仲間と助け合うことを体験し、自ら考えて道を切り開くことを身につけ、スポーツの意義を実感することを目的とする。
- 主催 (公財)日本ラグビーフットボール協会 大分県ラグビーフットボール協会
- 主管 大分県ラグビーフットボール協会 普及育成委員会
- 期日 令和3年 12月 5日 (日)
- 会場 大分市宮陸上競技場
- 競技規則 (公財)日本ラグビーフットボール協会タグラグビー標準競技規則に基づく大会規則に準ずる。
※人数は4人制、コートのはきは横14m×縦20m程度(インゴール5m程度)とし、主催者が決定する。
- 参加費 1人 300円(当日、受付時に徴収。※うち保険料1名100円)
- 申込方法及び締め切り 令和3年11月27日(土)までに別紙申込み用紙を電子メールにより提出してください。
送信先 : tag.oita@gmail.com (ファクシミリおよび郵送の申し込みはご遠慮ください)
- 組合せ等 参加チーム数及び府県予選の順位を元にタイムテーブルを作成する。組合せについては、当日、抽選で決定する。
- 競技方法 プール戦とトーナメント戦の併用を基本とするが、参加チーム数により決定する。
ただし、県予選大会はタグラグビーの普及を目的として、カップ戦とフレンドリーマッチの2つのカテゴリで実施する。
フレンドリーマッチは、大分県予選大会のみの適用とし、上位大会(九州・全国)への出場権は付与しない。
- 参加資格 (1)小学生4~6年生(日本の学期制による)で編成したチームで、学年の編成内容は問わない。
低学年(小学校3年生以下)を含むチームは、フレンドリーマッチへの参加とし、上位の九州ブロック大会および全国大会への出場権は付与しない。
(2)原則、単一小学校の参加とする。但し、タグラグビー普及の地域差等により単一小学校でチームが組めない場合は、複数の小学校で構成されたチームも可とする。あくまでも普及目的であり、強化や勝利のみを追求するチーム編成とならないように留意願います。
(3)参加チームは成人2名が必ず帯同コーチとして引率し、登録選手の保護者から参加の承諾を得ていること。また、大会要項その他主管団体の定める大会規則の遵守を誓約すること。
(4)帯同コーチは当該チームを指導掌握し、責任を負う事の出来る者であること。
但し、予選大会において帯同コーチが複数のチームを兼任する事は構わない。
※参加資格について不明の点は三地域協会、または大会事務局にお問い合わせください。
- 罰則 大会要項、大会諸規約、競技規則について、違反・スポーツマンシップに反する行為があった場合は厳重な処罰を行う。
- 安全対策 (1)試合中の傷害について、当日の応急処置は主管団体が施すが、事後処理はチーム及び保護者が行うものとする。
(2)大会期間中の保険は主催者(JRFU)でまとめて加入する。
(3)コロナ対策に関しては、参加団体・参加者が別紙に定める内容を遵守すること。
- 健康管理 (1)大会参加にあたっては、当該チームにて予め健康管理を行い、充分留意すること。
(2)試合中以外での病気傷害についてはチーム内で処理すること。
- 肖像権 大会出場選手の肖像権は主催者にあるものとする。
※公式ウェブサイト内の掲出や、次年度以降の大会のポスター・プログラム等に使用される可能性がある。
- 表彰 (1)1位~3位チームを表彰する。
(2)カップ戦の上位チームには、九州ブロック大会への出場権を付与する。(出場権を付与できるチーム数は、九州ラグビーフットボール協会から明確に示されてから知らせる。
ただし、新型コロナウイルス感染状況によっては、上位大会は実施されない場合もある。
- その他 (1)大会で使用するタグは選手個人のものを使用する。試合用タグボールは主管団体が用意する。
※タグは日本協会規定サイズ(50mm×375mm)とし、主催者が不適切と判断した場合は本部から貸出を行う。
(2)各チーム帯同コーチ1名は、他のチーム同士の試合のアシスタントレフリーが務められること。
(3)観大会当日は客制限を行う。別途出場チームに通知する。
(4)新型コロナウイルス感染拡大状況によって、大会開催有無を含め、大会規模縮小など、制限を行うことがある。
- 問い合わせ 大分県ラグビーフットボール協会 普及育成委員会 委員長兼タグ部門長 上田雄一
電話 勤務先 097-592-0024 携帯 090-7926-5454 mail:tag.oita@gmail.com